

(演題)

「初心者から経験者まで！知っておきたいプレステクニックの基礎知識」  
～臨床に役立つ、失敗しないための BASIC Knowledge & Technic～

有限会社 ラジカルスペース  
川端利明

抄録

歯科治療における審美的要求が高なる中、オールセラミックスによる修復の需要が高まっているのは周知の事実です。

そのような背景の中、CAD/CAM システムの普及もここ数年で一気に広まり、ジルコニアを応用したオールセラミックスプレスは、レイヤリング法からステイン法へと変わりつつあり、レイヤリングのコーピングとして使用していた頃に比べ、システムの良否や素材の良否が、完成物の良否を決定付けと思われるところまで進化してきた様に思います。

一方、従来のロストワックス法を継承した製作法でありながら、ジルコニアレストレーションをも上回る審美性を得る事も可能なプレステクニックによるオールセラミックスも、インレー、アンレー、ラミネート、クラウン、ブリッジと幅広く臨床に応用されています。多くの歯科技工士の皆さんがプレステクニックを臨床で行っている事と思います。

現在、主として使用されている、二ケイ酸リチウムを結晶核とする、分散強化型のプレスセラミックは曲げ強度が400Mpaと高く、臨床において、インレー、アンレー、ラミネート、クラウンに応用するには十分な組成を有しています。

また、今年の春から、二ケイ酸リチウムを結晶核とするプレスセラミックが数社から新発売され、色調などの点から選択の幅が広がり、審美的可能性はさらに広がりました。

そこで今回は、プレスセラミックスとは何か、プレステクニックとはどのようなものなのか、などの基本的な知識と技術について、臨床を行って行く中での失敗や疑問を解決するという実践的な観点から解説させていただきます。

プレスが上手く入らない、適合が上手くいかない、シェードが合わない等、プレステクニックをより効率的に行うためにヒントが満載です。